

第3回検討委員会 委員からの質問、意見と回答

太字：検討委員の意見 細字：市の回答、コメント

1. 小学校の統廃合について

【小学校の統廃合の検討を進めるべき】という意見

- ・ 教育現場から「小学校 11 校存続の必要性について疑問がある」との意見があった。検討していく必要がある。
- ・ 郷土を愛し…と基本理念に掲げられているが、小学校 3 年生から社会科の学習では、自分の住む地域から加西市へと視点を拡げて学習を進めている。4 年生では加西市から兵庫県、5 年では日本各地、6 年では日本から世界へというように学びが広がる。ここで捉える郷土とは、現在の小学校区をさしているようで、狭い考え方に感じる。グローバル化へ対応を一方で言いながら、あまりにも現在の小学校区にこだわりすぎているように思う。地域を大切にする＝加西市を大切にするでいいのではないか。
- ・ 地域、保護者、学校がそれぞれ協力し尊重し合って学校を創ることは当然であるが、「子どもの育ち」を第一に考えることが一番重要なことだ。そのために何ができるのか、どこに注力しなければならないのかを再度考えたい。10 人に満たない同級生の地域や学校に子どもたちが本当に魅力を感じるだろうか、大変疑問に思う。
- ・ 保護者や住民が小学校の統合を望む場合は、協議を始める。と書かれているが、複式学級になることが目前に迫っているのに、本当に期限を切らずに素早く対応できるのか疑問である。現時点から、中学校の統合と合わせ、小学校の統合について、検討を進めるべきだと思う。

【小学校を統合せず存続すべき】という意見

- ・ 地域社会を重んじる者としては、中学校校区の統合はやむを得ないにしても、小学校校区は残すべきと思う。
- ・ 校区がなくなってしまうたら、地域コミュニティがなくなる不安がある。今でも、コロナ禍であらゆる集いや活動が中止される中で地域の核となるのは、やはり小学校区という固まりではないかと思うので、小学校を残すための知恵を出し合うべきだと思う。

【小学校の統合を検討する前に問題解決への努力をすべき】という意見

- ・ 校長会の統合賛成とお聞きしましたが、現在の小規模校の課題を読んでも、そこから即統合というのも問題があると感じます。小規模だからというデメリットですが、そこに問題解決への努力や改善をされたのでしょうか？

【小学校の統廃合についてさらに議論を深めよ】という意見

- ・ 資料によると、連合 PTA の意見交換会と教職員との意見交換会の意見に隔たりがあるのが気になる。統合か 11 校案か今後どう埋めるのか長い議論が必要。

小学校の統合に関する議論は、上記のとおり「統合を検討すべき」、「統合せずに存続すべき」、「統合の前に問題を解決すべき」、「さらに議論すべき」と様々な意見が寄せられています。この点は学校現場における具体的な課題も踏め、次回以降に議論を深め、答申書をまとめる際には何らかの考え方を示すべきと考えています。

【小学校の統廃合】に関する質問

- ・ コストの面ではご質問もしにくいのですが、小規模校と大規模校では、先生対子どもの数に差も出てくると思います。そういったコストの面で県からの統廃合への圧力があるのでしょうか？

国や県からは、市の実情にあわせた様々な情報提供がありますが、統合の判断はあくまで市独自の判断となります。しかしながら、教職員の人件費は、学校の児童数生徒数に応じて金額が定められています。児童生徒数が少ないと、教職員の数も少なくなるので、国から手当される人件費も減少しますので、その点は苦しいところです。

2. 学園構想について

【学園構想は万能ではない】という意見

- ・ 学園構想について、北条中校区の小学校うち、北条小や北条東小は積極的な小小連携は必要としていない。その中で富田小はどうするのか。一方、泉中校区では実際に様々な場面で小小連携できることを探ってはいるが、現実問題として交流の域を抜け切れないのではないかと考える。

【学園構想】に関する質問

- ・ 学園構想について、現場の先生の意見、今回の会議での意見、保護者の意見を反映させた素案を再度作り、会議でいつの段階で提示されますか？

昨年 12 月 20 日に提示しました素案は、委員の皆さまや市民の方々から様々なご意見をいただくためのたたき台です。素案の役目はそこまでです。学園構想については、この素案をもとに、各委員の意見やアンケートの結果を反映しながら、新たに「答申書」にまとめていくこととなります。今年 9 月末に向けて、素案に代わる答申書をこれから委員の皆さまとともに作成していきます。

- ・ 学園構想の予算は市独自ですか？

学園構想の予算は市独自です。利用できる補助メニューがないか現在、検討しています。

3. 中学校の統合について

【中学校の統廃合はもう少し検討が必要】という意見

- ・ 中学校の統合区域はもう少し検討が必要かなと思います。

4. アンケートについて

【もう少し丁寧な質問が必要でないか】という意見

- ・ アンケートの内容は、見直すとの事であるが、中学校の統合についての設問で①素案に賛成 ②素案の再検討が必要 ③分からないとなっているが、こども園・小学校・中学校各保護者が、素案内容を理解できるか疑問に思う。分かりやすく丁寧な説明が必要と考える。
- ・ 保護者にすれば統合中学校の場所がどこになるのか、通学はどうなるのか、もう少し具体的な説明資料が必要ではないか。

素案は、委員の皆さまや市民の方々から様々なご意見をいただくためのたたき台です。最終案が出ていない現時点では、お伝えできる内容も限られ、立地場所も未定です。素案に対して、できるだけ多くの方から率直なご意見が得られるよう、シンプルでダイレクトな質問項目にしています。アンケートには素案も添付し、事前説明やQRコードによる動画も活用いただきながら実施したいと考えています。

【地域代表の答え方】に関する質問

- ・ 地域代表へのアンケート調査は、代表者として回答するのか、それとも個人としての回答か？

その方個人の回答を想定しています。

【質問設定、回答の選択肢】に関する意見

- ・ アンケート問 3 の子供にとって小学校はどんなところかの問いに→『地域とかかわり地域愛を育てるところ』があっても良いのではないかと思います。

アンケートについては、委員からのご指摘もあり、問3、問6の見直しを行いました。「地域とのかかわり」の語句は修正後のアンケートの問3、4に挿入しました。

- ・ アンケートの各質問項目の設定理由、加西市が目指す教育（素案P7-8など）についてご教示ください。

問1、2は回答者の属性です。問3は、加西市が目指す教育について、「地域や保護者が加西市の教育に何を求めているか」をたずねる質問です。問4、5は素案についての率直な質問です。問6は回答者が、問4、5の素案の賛否を考えるにあたり理由を見つけやすくするために設定しています。

以下、第3回会議後の委員からの指摘事項とその結果を受けての修正説明です。

(ご指摘いただいたように問3は素案の7、8頁と上手くつながっていません。最終的に問3を省くことにしました。問3の代わりには再度、素案の教育理念をおさらいしていただく目的で、加西市の人材育成(3C)の図を挿入しました。よって問4、問5は順繰りで問3、4となります。問6の選択肢は、問3、問4に組み込みました。結果、問6はなくなり、問3、4の自由記述は項目ごとに記入する形にしました。)

5. 上記以外にいただいたご意見

- ・ 市長から諮問を受けた委員会だが、どのような過程を経て、どんな形の答申を出すのか気になる。
- ・ 「義務教育9年間の責任」という言葉があった。いろんな立場の人がどの様に認識しているのか？すべての地域の子育てに社会の一員としてかかわっていきたいと考える。
- ・ 市の財政で今後小規模校を存続することにはかなり厳しいというのも理解できます。そこで、小規模校存続の為にどれくらいの市税が必要か？結局負担するのは私たちであり、子供たちです。小規模の良さもわかりますので、反対・賛成の方々の意見をすり合わせながら、特に反対の方は支援の必要な子を持たれる保護者の方々だと思います。不安な面をしっかりと聞くことも必要ですし、フリースクールなどについても前向きな検討もお願いしたいです。双方の意見を聞きながら、メリット、デメリットをしっかりと話し合い結論へと導いて頂ければと思っております。

アンケート集約の後、各委員とともに答申をまとめていきます。次回は財政面、コスト面の資料もご用意したいと考えております。また、会議の開催頻度が増えるよう第4回は4月18日、第5回は5月30日で調整しています。

フリースクールは加西市にありませんが、他市の状況を調べています。不登校児のための公立校などの研究も始めています。

委員の皆様には長丁場になりますが、今後ともよろしく願いいたします。